学校番号	T3017

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。
・けが等しないよう安全面には十分に配慮し、体を動かす楽しさや達成感を味わってください。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活でいかせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	出席状況 受講態度の観察 レポート	受講態度観察 レポート	技能観察	受講態度観察 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	体つくり運動	オリエンテーション 体ほぐしの運動 新体力テスト	○			○	a:安全や健康に配慮し積極的に授業に参加している。 d:運動をすることの意義や運動の原則を理解している。	受講態度の観察 出席状況 レポート
5 6 7	体つくり運動 球技 ダンス	体ほぐしの運動 ターゲットバードゴルフ 卓球	○	○	○	○	a:安全や健康に配慮し積極的に授業に参加している。マナーやルールを守り技能向上や協調性を育もうとする姿勢が見られる。 b:知識に基づき自らの課題克服に向けた取り組みを考えることができる。 c:各種目の特性に応じた技術を身につけている。 d:技術・用具の名称やルールを理解している。	受講態度の観察 出席状況 レポート
8 9 10	体つくり運動 球技	体ほぐしの運動 バレーボール	○	○	○	○	a: 安全や健康に配慮し積極的に授業に参加している。マナーやルールを守り技能向上や協調性を育もうとする姿勢が見られる。チームで作戦を考えたり、チームの中での自己の役割を果たそうとしている。 b: 知識に基づき自らの課題克服に向けた取り組みを考えることができる。 c: バレーボールの特性に応じた技術を身につけている。 d: 技術・用具の名称やルールを理解している。	受講態度の観察 出席状況 レポート

11 12	体つくり運動 球技	体ほぐしの運動 バドミントン テニス	○	○	○	○	a: 安全や健康に配慮し積極的に授業に参加している。マナーやルールを守り技能向上や協調性を育もうとする姿勢が見られる。 b: 知識に基づき自らの課題克服に向けた取り組みを考えることができる。 c: 各種目の特性に応じた技術を身につけている。 d: 技術・用具の名称やルールを理解している。	受講態度の観察 出席状況 レポート
1 2	陸上競技 球技 ダンス	20 分間走 アルティメット ダンス(エアロビクス)	○	○	○	○	a: 安全や健康に配慮し積極的に授業に参加している。マナーやルールを守り技能向上や協調性を育もうとする姿勢が見られる。チームで作戦を考えたり、チームの中での自己の役割を果たそうとしている。時間走の意義を理解し目的に基づいた走り方を実践している。 b: 知識に基づき自らの課題克服に向けた取り組みを考えることができる。 c: 各種目の特性に応じた技術を身につけている。20 分間で走れた距離 d: 技術・用具の名称やルールを理解している。一定時間一定のペースで走り続けることの意義を理解している。	受講態度の観察 出席状況 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。